

社会資本総合整備計画 事後評価書														
計画の名称	八幡市における次世代に引き継ぐ水環境の保全施設事業（第3期）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	八幡市													
計画の目標	本市では平成30年度末において汚水処理人口普及率が99.9％であり整備完了に近づいている。今後も下水道整備を推進するとともに、豪雨による浸水被害の軽減を図り、次の世代にこの水環境の保全施設を引き継いでいく。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		397	A	392	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	1.25	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R4	R6
1	幹線道路整備の随伴等により下水道整備を進める。 未普及地域の下水道整備実施率 整備実施延長（km）／計画延長（1.1km）	0%	35%	100%
2	雨水施設の増強整備を進める。 雨水函渠や水路拡幅等の整備実施率 整備実施延長（km）／計画延長（0.4km）	0%	52%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	八幡市	直接	八幡市	管渠（ 污水）	新設	公共下水道事業	污水管 L=1.1km	八幡市	■	■	■	■	■	323		－
		通常の下水道（未普及対策）																	
	A07-002	下水道	一般	八幡市	直接	八幡市	管渠（ 雨水）	新設	公共下水道事業	雨水函渠・水路拡幅等 L=0.4km	八幡市	■	■	■	■	■	69		－
		通常の下水道（浸水対策）																	
											小計						392		
											合計						392		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		R02	R03	R04	R05	R06														
		一体的に実施することにより期待される効果																		
備考																				
下水道事業	C07-001	下水道	一般	八幡市	間接	個人	—	新設	公共下水道事業	各戸貯留施設設置補助	八幡市	■	■	■	■	■	5		—	
		浸水被害の軽減及び雨水の有効利用																		
												小計						5		
											合計						5			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
八幡市上下水道部下水道課において実施	令和7年度
	公表の方法
	市ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	未普及対策は道路工事の進捗に合わせて下水道整備を行うことから計画よりも整備実施延長が減少したものの、未普及地域での下水道（汚水）整備を実施することができた。 浸水対策は実施可能な整備を精査して進めたことから計画よりも整備実施延長が減少したものの、浸水被害を軽減するための下水道（雨水）整備を実施することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き、未普及対策及び浸水対策を進める。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	整備実施延長（km）／計画延長（1.1km）		
	最 終 目 標 値	100%	道路工事の進捗に合わせて下水道整備を行うことから計画よりも整備実施延長が減少したため。
	最 終 実 績 値	17%	
2	整備実施延長（km）／計画延長（0.4km）		
	最 終 目 標 値	100%	実施可能な整備を精査して進めたことから計画よりも整備実施延長が減少したため。
	最 終 実 績 値	68%	